

## At a Glance

SBIグループの事業概況(2016年3月期)

### 金融サービス事業

インターネットを通じた革新的で利便性の高い  
金融商品やサービスを提供

- 証券関連事業
- SBIマネープラザ
- 銀行関連事業
- 金融商品の比較・検索・  
見積もりサイトの運営事業
- 保険関連事業

Financial  
Services  
Business



収益

1,590億円

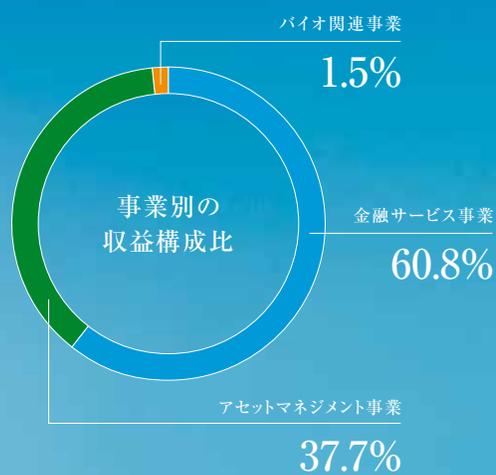
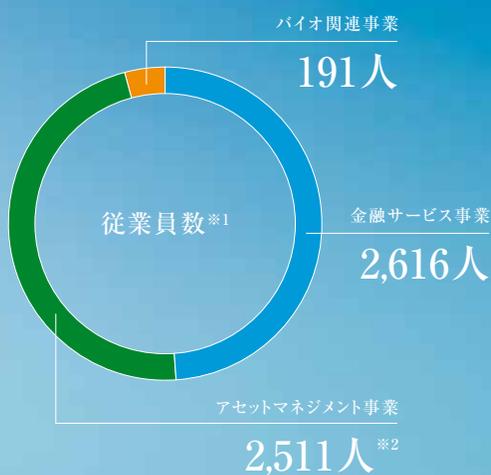
前期比 11億円 ↓

税引前利益

505億円

前期比 161億円 ↓

▶ グループの収益を牽引するSBI証券の3期連続をはじめ、主要金融サービス事業各社が過去最高益を更新したほか、赤字事業体であったSBI損保とSBIレミットが創業以来初となるIFRSベースでの通期黒字を達成しました。一方で、2015年3月期にSBIモーゲージ(現アルビ)の売却に伴う一過性の利益を計上していることから、収益は前期比0.7%減の159,012百万円、税引前利益は同24.2%減の50,458百万円となりました。しかし、この一過性の影響を除いた場合、税引前利益は前期比2.0%の増益となります。



※1 全社共通人員など162名を除く。

※2 投資育成等のために取得した企業のうち支配していると認められ、連結子会社として認識される企業の従業員1,822名を含む。

※3 その他の事業として、賃貸住宅の家賃保証業務や会員制健康関連サービス事業などがある。

## Asset Management Business



## Biotechnology-related Business

### バイオ関連事業

様々なパートナーと連携して  
医薬品・健康食品・化粧品の  
研究開発・製造・販売を展開

- 最先端のバイオテクノロジーを駆使した新たな医療、医薬品の研究開発
- ALAを用いた医薬品・健康食品・化粧品の研究開発

### アセットマネジメント事業

国内外のITやバイオテクノロジー分野等のベンチャー企業へ投資、また資産運用サービス等を提供

- ベンチャーキャピタル事業
- 海外における金融サービス事業
- 国内外における投資事業
- 資産運用サービス事業

収益

987 億円

前期比 274億円 ↗

税引前利益

180 億円

前期比 91億円 ↗

▶ 事業再生が終了した韓国のSBI貯蓄銀行が順調に正常債権を積み上げ、成長基調を継続していることから引き続き業績が堅調に推移していることに加え、保有する上場銘柄を中心として、公正価値評価の変動による評価益を計上したことがセグメント全体の業績に寄与しました。また2016年3月期よりアセットマネジメント事業へセグメント変更を行ったモーニングスターが大幅な増収増益を達成したことも牽引し、収益は前期比38.4%増の98,725百万円、税引前利益は同101.8%増の17,996百万円となりました。

収益

40 億円

前期比 18億円 ↗

税引前利益

△66 億円

前期比 7億円 ↗

▶ 2016年3月期ではSBIバイオテックの子会社である米国クォーク社が保有する創薬パイプラインにおいて、スイスのノバルティスファーマ社とのオプション契約更新によるアップフロントフィー20百万USDルを受領。またSBIアラブプロモでは2015年12月からALA配合の機能性表示食品「アラブラス 糖ダウン」を発売して以降、売上が急拡大していることなどから、収益は前期比84.3%増の4,021百万円、税引前損失は6,572百万円(2015年3月期は7,310百万円の損失)となりました。